

平成30年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰

平成30年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰受賞者は、次のとおりです。

安全功労者表彰受賞者 個人22名、団体10団体

消防功労者表彰受賞者 消防団員7名、女性（婦人）防火クラブ員5名

（受賞者名等は、別紙の受賞者名簿に記載されています。）

安全功労者総務大臣表彰は、「安全思想の普及徹底又は安全水準の向上のため、各種安全運動、安全のための研究、もしくは教育又は災害の発生の防止もしくは被害軽減に尽力し、又は貢献した方々の士気高揚を図る」という目的で、消防職団員以外の個人・団体を受賞対象とし、行っているものです。

消防功労者総務大臣表彰は、「国民の生命、身体、財産を災害から防護するため、郷土愛護の精神に基づき、消防活動、火災予防思想の普及等に献身的に尽力している消防団員及び女性（婦人）防火クラブ員の士気高揚を図る」という目的で行っているものです。

1 安全功労者・消防功労者総務大臣表彰式

（1）日 時 7月9日（月）11時00分～11時30分

（2）場 所 東京消防庁スクワール麹町 3階錦華の間
千代田区麹町六丁目6番

（3）出席予定者 総務大臣、消防庁長官、消防庁次長、国民保護・防災部長他

2 資料の入手方法

別紙の資料については、総務省ホームページ（<http://www.soumu.go.jp/>）及び消防庁ホームページ（<http://www.fdma.go.jp/>）の「報道資料」欄に、本日（2日（月））14時を目途に掲載するほか、総務省消防庁総務課（総務省3階）において閲覧に供するとともに配布します。



連絡先
消防庁総務課
平寄政策評価広報官・矢島係長
TEL 03(5253)7521内線 42171
FAX 03(5253)7531

平成 30 年度

安全功勞者総務大臣表彰
消防功勞者総務大臣表彰

平成 30 年 7 月

消 防 庁

1 安全功労者総務大臣表彰受賞者（個人の部）

- 清原 勉 (茨城県・ひたちなか市防火安全協会 会長) ----- 1
- 有馬 清種 (東京都・渋谷防火防災協会 会長)
- 井上 タカ子 (東京都・稲城市女性防火クラブ 会長) ----- 2
- 小川 はつ (東京都・本田防火女性の会 会長)
- 喜多 崇介 (東京都・四谷防火防災協会 会長) ----- 3
- 嶋村 嘉高 (東京都・江戸川防火管理研究会 会長)
- 清水 肇 (東京都・麴町防火管理者研究会 会長) ----- 4
- 安部 ひろみ (福井県・福井県女性防火クラブ連絡協議会 会長)
- 森本 耕作 (三重県・名張市少年消防クラブ運営協議会 事務局長) -- 5
- 河原林 正 (京都府・上京自衛消防連絡協議会 会長)
- 加藤 智一 (大阪府・豊中防火安全協会 副会長) ----- 6
- 川端 義孝 (大阪府・守口門真防火協会 理事)
- 川本 町子 (大阪府・柏原市婦人防火クラブ 会長) ----- 7
- 岸本 光正 (大阪府・阿倍野防火協力会 会長)
- 西本 功 (大阪府・東大阪市西防火協力会 副会長) ----- 8
- 村上 健 (大阪府・南防災協会 会長)
- 有馬 大雄 (山口県・真珠幼稚園幼年消防クラブ 会長) ----- 9
- 矢野 壽美子 (徳島県・徳島県婦人防火クラブ連合会 会長)
- 池田 睦 (福岡県・三井・小郡地区防災協会 会長) ----- 10
- 喜多村 浩司 (福岡県・久留米市防災協会連合会 会長)
- 佐道 和記 (福岡県・粕屋南部地域防災協会 副会長) ----- 11
- 平田 嗣子 (宮崎県・宮崎県女性防火クラブ連絡協議会 会長)

2 安全功労者総務大臣表彰受賞者（団体の部）

- せきたそうごうじしゅぼうさいかい 関田総合自主防災会（福島県） ----- 12
- はねかわようちえんしょうねんしょうぼうくらぶ 羽川幼稚園幼年消防クラブ（栃木県）
- ふくおかまちぼうかあんぜんきょうぎかい 福岡町防火安全協議会（富山県） ----- 13
- みかさせいやくかぶしきがいしやかけがわこうじょう 三笠製薬株式会社掛川工場（静岡県）
- いっばんざいだんほうじんあいちけんしょうぼうせつびあんぜんきょうかい 一般財団法人愛知県消防設備安全協会（愛知県） ----- 14
- いとひきふじんぼうかくらぶ 糸引婦人防火クラブ（兵庫県）
- かごいけ きょうぎかいぼうさいぶかい 籠池ふれあいのまちづくり協議会防災部会（兵庫県） ----- 15
- にしおおしまじしゅぼうさいかい 西大島自主防災会（兵庫県）
- かみた うらあかまつふじんぼうかくらぶ 上田の浦赤松婦人防火クラブ（長崎県） ----- 16
- いりょうほうじんしゃだんじゅりょうかいくまもときのうびょういん 医療法人社団寿量会熊本機能病院（熊本県）

3 消防功労者総務大臣表彰受賞者（消防団員）

- さき つね とし 笹 常 俊（青森県・弘前市消防団 団長） ----- 17
- みや かわ たかし 宮 川 尚（青森県・佐井村消防団 団長）
- よし だ みき お 吉 田 幹 男（埼玉県・久喜市消防団 団長） ----- 18
- あか いし かず まさ 赤 石 一 昌（東京都・小笠原村消防団 団長）
- くり やま ひで お 栗 山 秀 夫（奈良県・川上村消防団 団長） ----- 19
- なか むら のぶ ひろ 中 村 信 廣（奈良県・高取町消防団 団長）
- おお つぼ やす ひこ 大 坪 安 彦（佐賀県・上峰町消防団 団長） ----- 20

4 消防功労者総務大臣表彰受賞者（女性（婦人）防火クラブ員）

- 前^{まえ}川^{かわ}典^{のり}子^こ
(北海道女性防火クラブ連絡協議会 会長) ----- 21
- 朽^{くつ}木^き茜^{あかね}
(千葉県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長)
- 上^{うえ}松^{まつ}幸^{ゆき}恵^え
(岐阜県女性防火クラブ運営協議会 副会長) ----- 22
- 須^す佐^さ光^み佐^さ子^こ
(和歌山県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長)
- 山^{やま}本^{もと}文^{ふみ}子^こ
(岡山県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長) ----- 23

安全功労者総務大臣表彰を受賞した個人及び団体

個人の部

○^{きよ}清 ^{はら}原 ^{つとむ}勉

ひたちなか市防火安全協会 会長
現住所 茨城県ひたちなか市

昭和46年4月に勝田市危険物安全協会理事に就任、2市合併により発足したひたちなか市防火安全協会理事、副会長を歴任し、各事業の推進を図るとともに、火災予防運動や消防出初め式などの活動には、防火防災の普及促進について自ら先頭に立って会員事業所及び地域住民に呼びかけるなど、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。

また、平成25年1月には、ひたちなか市防火安全協会会長の要職に就任し、防火思想の普及・啓発に尽力するとともに、ひたちなか市の防火・防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

○^{あり}有 ^ま馬 ^{きよ}清 ^{たね}種

渋谷防火防災協会 会長
現住所 東京都渋谷区

平成13年に渋谷防火防災協会副会長に、また、平成15年5月には会長に就任し、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽力し、地域住民の信頼も厚く、地域連携による災害に強いまちづくりに尽力している。

また、消防署が実施する火災予防運動並びに消防団、消防少年団等の訓練及び育成を積極的に支援するとともに、平成24年6月からは公益財団法人東京連合防火協会の監事にも就任するなど、渋谷区はもとより、東京都全体の消防・防災の指導者として活動しており、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

いの うえ たかこ
○井 上 タカ子

稲城市女性防火クラブ 会長
現住所 東京都稲城市

平成17年4月、稲城市女性防火クラブの会長に就任して以来、各種研修会の開催、住宅用火災警報器の設置促進・維持管理広報活動、地域防災訓練や市主催の防災関係事業の参加など、会の育成発展とともに、防火思想の普及・啓発に尽力している。

また、平成17年から知識経験者として稲城市消防委員会委員の他、稲城市防災会議委員や稲城市安全安心まちづくり推進協議会委員の要職に就き、女性からの視点による予防活動や、平成23年度及び平成29年度と関東地区女性（婦人）防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会の実行委員長として、防火・防災力の推進、団体相互の交流、情報交換等が行われるよう、自らが先頭に立ち、安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

お がわ
○小 川 は つ

本田防火女性の会 会長
現住所 東京都葛飾区

昭和53年から平成11年まで本田防火女性の会副会長を歴任、平成11年に会長に就任し、本田防火女性の会の各事業の推進を図るとともに、本田防火女性の会会長に就任と同時に本田防火防災協会常任理事に就任するなど、各種の消防関係団体の要職に就き、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力している。

また、地域の防火防災対策について女性の立場から研究、実践し、家庭でできる防火防災対策の普及に取り組むとともに、防火防災講演や防災関連施設の視察研修会を企画するなど、女性と地域の防火防災意識の高揚に多大な貢献をしている。

○^き喜^た多^{たか}崇^{ゆき}介

四谷防火防災協会 会長
現住所 東京都中野区

平成17年5月、四谷防火防災協会に入会し、会員の推挙により同日付けで会長に就任した。この間、多年にわたり、防火防災思想の普及に努め、豊富な見識と卓越した指導力、積極的な行動力により会の育成発展に尽力している。

特に、防火防災講演会や防火防災関連イベント、女性を中心とした研修会等の各種行事を企画し、地域の住民や事業者に対して積極的な参加を働きかけるなど、地域防災行動力の向上を図っている。

また、公益財団法人東京連合防火協会評議員及び消防関係団体の要職に就き、地域全体の安心・安全に多大な貢献をしている。

○^{しま}嶋^{むら}村^{よし}嘉^{たか}高

江戸川防火管理研究会 会長
現住所 東京都江戸川区

昭和40年4月に江戸川防火管理研究会の会員となり、平成6年4月に理事、平成18年4月には副会長、翌平成19年4月には会長に就任し、その豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽力し、自主防火管理体制の強化促進に寄与している。

また、各種消防関係団体の要職にも就いており、各会の育成発展を通して、防火管理思想、防火思想の普及・啓発に尽力し、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

し みず はじめ
○清 水 肇

麴町防火管理者研究会 会長
現住所 東京都北区

平成12年5月、麴町防火管理者研究会理事、平成14年5月から会長に就任、以来豊富な識見と卓越した指導力により研究会の発展に尽力している。この間、長年にわたり地域に密着した地域防災力の向上に努め、防火防災意識の普及啓蒙に寄与している。

また、毎年、春秋の火災予防運動及び、地域安全への積極的な参画と自主防火管理、自衛消防知識及び技術の向上を目的とした「自衛消防訓練審査会」の開催を消防署と共催で実施するなど、地域住民及び地域事業所の防火防災意識の高揚に尽力している。

さらに未曾有の災害に備え救命技能を有する人材育成にも尽力し、地域の安心・安全に多大な貢献をしている。

あ べ ひろみ
○安 部 ひろみ

福井県女性防火クラブ連絡協議会 会長
現住所 福井県吉田郡

平成18年から現在に至るまで、永平寺町女性防火クラブの副会長、会長を歴任し、住宅用火災警報器の適正な維持管理の呼びかけや防災ゲームを用いた研修会の開催等を通して豊富な識見と卓越した指導力を発揮し、あらゆる角度から地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

また、平成28年からは、福井県女性防火クラブ連絡協議会の会長に就き、毎年県下の女性防火クラブ員を集めた研修会を開催するなど協議会の育成発展に取り組むとともに、防火・防災思想の普及・啓発に尽力し、永平寺町はもとより福井県の防火・防災の指導者として活躍している。

もり もと こう さく
○森 本 耕 作

名張市少年消防クラブ運営協議会 事務局長
現住所 三重県名張市

昭和55年に蔵持少年消防クラブ指導者に就任したことを皮切りに、現在は桔梗が丘南少年消防クラブと梅が丘少年消防クラブの指導者に就任、名張市の少年消防クラブの草創期から現在に至るまでの長きにわたり、卓越した指導力をもって、クラブ員はもとより市全体の防火、防災思想の高揚に寄与している。

氏は、クラブの発展に尽力するとともに、各クラブ間の連携を図るために設置している「名張市少年消防クラブ運営協議会」の役員も歴任し、平成17年4月1日から現在に至るまでは事務局長として組織の発展に寄与している。

また、少年消防クラブの指導者に就任する前には、名張市消防団やカブスカウトで後進の育成指導などについても尽力するなど、多大な貢献をしている。

かわらばやし ただし
○河原 林 正

上京自衛消防連絡協議会 会長
現住所 滋賀県彦根市

平成19年、上京自衛消防連絡協議会会長に就任し、事業所の自衛消防活動の重要性を良く理解し、区内事業所の防火防災力の向上に尽力している。

氏は、新入社員合同防火防災研修会や訓練大会を毎年開催し、参加事業所の自衛消防隊員の実践的な能力の向上に努めるほか、平成28年から、自らが防火管理者を務める株式会社SCREEN ホールディングス社内で自衛消防隊の訓練大会を実施し、災害対応能力の向上を図っている。

また、社員にボランティア活動を奨励するとともに、防災ボランティアとしての消防団活動を紹介した結果、4名の社員が上京消防団に入団するなど、見回りや消防訓練を通じて地域の防災力の向上に多大な貢献をしている。

か とう とも かず
○加 藤 智 一

豊中防火安全協会 副会長

現住所 大阪府豊中市

平成12年4月、豊中防火安全協会（以下「協会」という。）理事に、平成18年6月には協会副会長に就任し、以来、その職務に強い信念を持ち、協会の事業推進と発展に尽力され、平成30年4月1日現在242事業所が加入するに至っている。

また、自身が代表取締役を務める加藤工業株式会社においても、従業員に対する職場の安全管理に関する研修会を機会あるごとに開催するとともに、災害が発生した場合を想定した消火、通報、避難誘導の実践的な訓練を実施するなど、事業所の保安体制の強化を積極的に推進しており、こうした取組みは、自社における災害対策のみならず、地域の安心・安全を担う取り組みとして、他の事業所の模範となるものである。

かわ ばた よし たか
○川 端 義 孝

守口門真防火協会 理事

現住所 大阪府守口市

昭和50年10月、守口市及び門真市内の事業所で構成する守口門真防火協会の理事に就任し、今日に至るまで協会運営に積極的に携わり、協会の発展と究極の目標である管内無火災を達成するため、「火災予防思想の普及啓発」及び「危険物災害の防止」に関しての事業を積極的に推進し、防火・防災活動への貢献は誠に顕著である。

また、地域においては、防犯委員を長年務めるなど地域の安全確保や青少年の育成に尽力し、安全で安心な街づくりに多大なる貢献をしている。

かわ もと まち こ
○川 本 町 子

柏原市婦人防火クラブ 会長
現住所 大阪府柏原市

昭和63年11月25日に柏原市婦人防火クラブが設立する。氏は、平成14年6月1日に柏原市婦人防火クラブ会長に就任し、豊富な識見と卓越した指導力を発揮し、クラブの育成発展に尽力されるとともに、防災訓練及び街頭防火キャンペーン等においても独自の企画立案で手腕を発揮し、親近感あふれる活動を展開し、柏原市婦人防火クラブの発展及び充実に図るために尽力を惜しまず、その持前の明るさと実行力で数々の行事に参加し地域住民に貢献し、会長としてクラブ員からの信頼も厚く、目的達成のために尽力を惜しまず、地域の防火安全の推進に多大な貢献をしている。

きし もと こう せい
○岸 本 光 正

阿倍野防火協力会 会長
現住所 兵庫県神戸市

平成19年に阿倍野防火協力会副会長、平成20年には阿倍野防火協力会会長に就任し、会員からの信頼を集め、豊富な防災知識と卓越した指導力により会の育成発展に尽くすとともに、各種消防関係団体と連携・協力し、防火思想の普及啓発に努めるなど、阿倍野区の消防・防災の指導者として活動していた。

また、平成26年からは、大阪市連合防火協力会副会長の要職に就き、阿倍野区はもとより大阪市全体の消防・防災の指導者として活動しており、地域住民の信望も厚く、地域の安心・安全の普及啓発に多大な貢献をしている。

にし もと いさお
○西 本 功

東大阪市西防火協力会 副会長
現住所 大阪府東大阪市

平成元年4月に東大阪市西防火協力会の常任理事に就任し、当協力会の目的と消防行政に深い理解と関心を持ち、各事業に積極的に参画して市民防災の普及啓発に努め、地域防災に尽力している。

平成27年5月に副会長就任後は、ますます消防行政に深い理解を示し、他の役員との連携を密にして当会の円滑な運営を図りその手腕を遺憾なく発揮している。

また、昭和59年5月に社団法人大阪府エルピーガス協会理事に就任し、現在に至るまで永きにわたり、協会本部役員として業界全体の発展に寄与し会員の信望も厚く、特に積極的な行動力を以って、協会諸事業の推進に努め、常に指導力を発揮して協会の円滑な運営と健全なる発展に多大な貢献をしている。

むら かみ たけし
○村 上 健

南防災協会 会長
現住所 大阪府堺市

平成2年、泉北防災協会会計理事に就任し、平成12年に同協会の副会長、平成23年に会長を歴任、長年に渡り、地域社会における防火防災活動等を推進され、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及啓発に多大な貢献をしている。

また、平成12年7月より堺市高石市防災協会連合会の理事、会計理事、副会長を歴任し、同協会事業に尽力、広いエリアでの防災推進を図っている。

加えて、将来の地域防災力向上のため幼年消防クラブの育成にも力を入れ、防災思想の普及に尽力しており、安全で安心して暮らせる街づくりを目指し、地域防災の向上に多大な貢献をしている。

あり ま だい ゆう
○有 馬 大 雄

真珠幼稚園幼年消防クラブ 会長

現住所 山口県山陽小野田市

平成9年4月、真珠幼稚園幼年消防クラブ会長に就任して以来、会長として21年の永きにわたり、幼年消防クラブ各種行事の立案から開催までを強いリーダーシップと指導力により牽引し、クラブ員の指導及び指導者の育成に尽力している。積み重ねた豊富な知識と経験から、積極的に幼年消防クラブの活動にあたり、保育園の職員、地域住民や保護者から深く敬愛され、信望も極めて厚い。

また、宇部・山陽小野田防火委員会では平成24年4月23日から副会長に就任し、構成市内の幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び婦人防火クラブを取りまとめ、各クラブの連携及び運営を献身的に行い、防火委員会の発展に大きく貢献している。

や の す み こ
○矢 野 壽美子

徳島県婦人防火クラブ連合会 会長

現住所 徳島県鳴門市

平成22年5月に市内13の婦人防火クラブで組織する鳴門市婦人防火クラブ連合会会長に就任して依頼、豊富な識見と卓越した指導力を生かし、鳴門市や消防本部が開催する防火・防災訓練及び県が主催する研修会等に率先協力するなど、連合会の育成発展、地域住民の防火・防災意識の高揚に大きく貢献している。

また、住宅用火災警報器の設置義務化の際には、研修会の開催、共同購入を実施し設置促進に向けた普及・啓発活動に熱心に取り組み、普及率向上に大きく寄与した。

さらに、平成28年6月に徳島県婦人防火クラブ連合会の会長に就任以降も、消防クラブ及び指導者育成、各種研修会等に参加するなど、防火・防災関連活動にも卓越した手腕を発揮し、地域の安心・安全の普及啓発に多大な貢献をしている。

いけ だ むつぶ
○池 田 睦

三井・小郡地区防災協会 会長
現住所 福岡県小郡市

平成6年、三井・小郡地区防災協会の理事に就任し、平成12年からは副会長、さらに平成26年からは会長として現在に至るまで、豊富な識見と卓越した指導力により協会の育成発展に尽力している。

また、三井・小郡地区防災協会のスローガンである「災害のない、明るく、住みよいまちづくり」を常に念頭に置き、協会主催の各種事業を積極的に推進し、特に防火防災に関する事業を開催する際には、自ら先頭に立って地域住民に参加を呼びかけ地域住民の防火防災意識の高揚を図るなど、地域住民に対する防火防災思想の普及啓発及び地域防災力の向上に尽力し、地域の安心・安全の確立に多大な貢献をしている。

きたむら ひろし
○喜多村 浩司

久留米市防災協会連合会 会長
現住所 福岡県久留米市

平成14年6月に久留米市防災協会連合会副会長に就任、平成23年6月には会長へと就任（福岡県危険物安全協会副会長も同年月日に就任）し、豊富な識見と卓越した指導力により火災等の各種災害の予防対策及び会員相互の融和親睦・会の育成発展に努めている。

また、市民及び幼少期の子ども達の防火・防災意識の高揚を図るため、防災インストラクターとして着ぐるみを2体製作するとともに、毎年、防火・防災に関するイベント及びパレードを開催することで、多くの方が防火・防災に関われる環境を積極的に作り、安心・安全な街づくりのために地域に多大な貢献をしている。

○^さ佐^{どう}道^{かず}和^き記

粕屋南部地域防災協会 副会長
現住所 福岡県糟屋郡

平成16年4月、粕屋南部地域防災協会の理事に就任後、平成19年4月から同協会副会長に就任し、以来豊富な職見と卓越した指導力により各事業所の防災体制の強化促進及び地域の災害防止を目指し協会による活動を多岐にわたり積極的に取り入れ協会の育成発展に努めている。

さらに、各種の地域団体の要職に就き、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に取り組んでいる。

また、消防署が実施する危険物安全週間や春季・秋季火災予防運動などの事業開催時には、自ら率先して協力し、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

○^{ひら}平^た田^{つぐ}嗣^こ子

宮崎県女性防火クラブ連絡協議会 会長
現住所 宮崎県宮崎市

平成21年3月に宮崎市婦人防火クラブ連絡協議会を発足し、会長に就任、毎年、避難訓練や炊き出し訓練を実施している。

また、地域における女性や高齢者の防災意識高揚に努めるとともに、宮崎市消防局及び宮崎市消防団と連携し、長年に渡り、住宅用火災警報器の共同購入事業に取り組み、宮崎市内の住宅用火災警報器設置率向上に大いに貢献している。

さらに、平成26年2月、宮崎県女性防火クラブ連絡協議会を設立し初代会長に就任、現在まで4年間に渡って会長職を務め、県内の女性（婦人）防火クラブの指導的役割を果たしている。

団体の部

せきたそうごうじしゅぼうさいかい ○関田総合自主防災会

(会長 馬上 昌幸)

所在地 福島県いわき市

平成元年2月、「自分達の地域は自分たちで守る」ことを目的とし、いわき市勿来町に結成以来、積極的に防災訓練（初期消火、情報の収集・伝達、避難誘導、救出・救護、応急手当、給食・給水等の各種訓練）を実施している。

東日本大震災に伴う津波により、沿岸部が被害を受けたことから、率先して津波避難訓練を実施した先駆けの地域である。更に風水害や地震発生による避難所開設（地元中学校）において、迅速な対応をしている様は他の模範である。

また、住宅用火災警報器の設置推進活動にも積極的な取り組みをしており、その設置率は95%と高水準に達している。

地元消防団とも連携を密にし、地域防災力の向上に力強く取り組んでいる。

はねかわようちえんようねんしょうぼうくらぶ ○羽川幼稚園幼年消防クラブ

(園長 鈴木 隆作)

所在地 栃木県小山市

昭和61年5月1日に小山市内初の幼年消防クラブとして発足して以来、32年にわたり、幼年期から正しい火の取扱いを学び、火遊びの防止を図ることなどを目的として、防火に関する映像や啓発教材を使用して火災予防教育を実施している。

また、小山市消防団通常点検では「防火のちかい」や「火の用心のうた」を披露し、小山市防災訓練では鼓笛隊として演技を実施するなど、防火、防災事業に積極的に参加するとともに、火の用心巡回や防火法被を着用しての登園活動等を通して、地域住民の火災予防に対する意識啓発を図ることで、園周囲の地域では火災件数が極めて少ない状態が継続し、安全・安心な地域社会づくりに多大な貢献をしている。

ふくおかまちぼうかあんぜんきょうぎかい
○福岡町防火安全協議会

(会長 井林 和幸)

所在地 富山県高岡市

昭和44年、町内各事業所と消防機関が連携し火災予防の推進と防火思想の普及徹底を図ることを目的に結成以来、事業所における一般火気、危険物及び消防用設備等の取扱いなど防火管理体制の充実強化を図るとともに、春季及び秋季火災予防運動期間中に会員事業所において消防総合防災訓練を実施し職場内の災害予防に努めている。

また、幼少年期の子供達への防火防災思想の高揚を図るための幼年消防育成指導、予防救急の認知度アップの「リーフレット」及び火災予防広報用「不織布マスク」を各種行事等で配布し、地域住民の救急活動への理解、防火防災思想の高揚及び福岡地区の火災発生防止に多大な貢献をしている。

みかさせいやくかぶしがいいしゃかけがわこうじょう
○三笠製薬株式会社掛川工場

(取締役常務執行役員 青野 甲子郎)

所在地 静岡県掛川市

昭和47年、静岡県小笠郡大浜町（現在の掛川市）に創業し、「元気が生きがい」を社訓に、病院、診療所で使われる「経皮吸収型鎮静剤」や薬局、薬店で販売されている「固形軟膏剤」などの医薬品を製造している事業所である。

平素から、危険物施設及び他法令に基づく施設を有する事業所として、保安管理及び防火安全の企業責任を十分認識し、無事故を継続するとともに、防火思想の普及活動並びに保安技術の向上を目的とした講習を実施し、防火意識の高揚に努めている。

また、消防団活動への協力や静岡県における第4次被害想定津波浸水域に立地する事より、市民に対し津波避難場所を提供するなど、地域防火防災に多大な貢献をしている。

いっばんざいだんほうじんあいちけんしょうぼうせつびあんぜんきょうかい
○一般財団法人愛知県消防設備安全協会

(理事長 稲垣 隆司)

所在地 愛知県名古屋市

昭和52年4月に財団法人愛知県消防設備安全協会を設立、平成25年4月に公益法人制度改革に伴い、一般財団法人愛知県消防設備安全協会に移行して以来、消防用設備等の設置工事及び維持管理の適正化、消防設備士、消防設備点検資格者の教育を行い、その資質向上を図ると共に、建築物の防火安全を推進し、地域社会における火災の予防、火災による被害の軽減を図り、社会公共の福祉の増進に寄与している。

また、防火対象物関係者への啓発や火災予防思想の普及を図るとともに「愛知県消防学校一日体験入校」、小学生を対象とする「防火作品展」を長年にわたり後援するなど、児童・生徒への火災予防思想の意識高揚に寄与している。これらの各種事業を通じ、県内のデパート、ホテル、病院、工場、事務所ビル等の防火対象物及び一般住宅の防火安全の徹底と地域住民に対する防火、防災意識の高揚に多大な貢献をしている。

いとひきふじんぼうかくらぶ
○糸引婦人防火クラブ

(隊長 景山 みどり)

所在地 兵庫県姫路市

昭和55年7月発足以来、「家庭、地域から火災を出さないこと」をスローガンに掲げ、防火意識を高める活動しており、消火器の取扱い訓練による初期消火技術の習得、救急講習の開催による応急救護知識の向上、防火研修会による火災予防意識の普及啓発等の活動を積極的に取り組んでいる。

また、消防署主催の視察研修では、火災事例、燃焼実験から身近な火災危険を再認識するとともに、火災から命を守るために住宅用火災警報器の設置、維持、点検の重要性を深く理解し、地域行事を通じて広報を実施している。

さらに、「家庭防火セミナー」等の研修会では、地域・家庭で抱えている問題、疑問点等を投げかけるなど、常に積極的な姿勢で防火・防災意識の高揚を図っている。

これらの精力的な活動体制が確立された組織の形態は他の模範であり、安心・安全で魅力的な地域社会の構築に大きく寄与している。

かごいけ
○籠池ふれあいのまちづくり協議会防災部会

(部会長 米澤 陸男)

所在地 兵庫県神戸市

阪神・淡路大震災の教訓として神戸市が進める防災福祉コミュニティ事業に賛同し、旧葺合消防署管内第1号として、平成8年3月に発足し、結成当初から、地域のために多方面にわたる活動を実施している。

地域福祉センターのホームページに防災福祉部会のコーナーを設け、活動の発信事業をおこなっている他、震災時の救出活動で土台が柔らかく油圧式ジャッキがほとんど役に立たなかった経験からチェンソーを地域で購入し、あらゆる可能性を取り入れた訓練方法を試みている。また、福祉施設と連携して訓練を行う他、地元住人と共に土砂災害避難経路の確認を実施している。

さらに、地元中学校の生徒会の協力を得て小・中学校との連携訓練を実施するなど、防災教育を通じ震災の教訓の次世代への継承、及び新たな人的資源の発掘に取り組んでいる。

にしおおしまじしゅぼうさいかい
○西大島自主防災会

(会長 青山 哲之)

所在地 兵庫県尼崎市

西大島社会福祉連絡協議会を母体とし、平成4年5月8日に結成されて以来、「自分達のまちは、自分達で守る」という、郷土愛護と自助・共助の精神のもと、年1回以上の自主防災活動を継続して実施している。

防災訓練や防災講演会、防災マップづくり等、多様な防災活動を展開して必要な知識及び技術の習得や防災意識の啓発を図るだけでなく、県・市主催の防災事業への参加・協力や、要配慮者支援のための避難行動要支援者名簿を先立って受領する等、防災・減災対策に積極的に取り組む姿勢は他の自主防災会の模範であり、本市の地域防災力の向上に大きく貢献している。

かみた うらあかまつふじんぼうかくらぶ
○上田の浦赤松婦人防火クラブ

(代表 泉田 緑)

所在地 長崎県長崎市

昭和40年11月に結成以来、火災予防の原点である「自分の家は、自分で守る」という意識のもとに、日頃から火災・災害を想定し、近隣婦人防火クラブや自治会等の関係団体と一致協力して訓練等を実施し、地域住民の防火思想の普及向上を図っている。

また、防火チラシやパンフレット等を各世帯へ回覧、配布するなどして地域住民へ火の用心、火災予防の呼びかけを行い、地域の防火意識の高揚を図るなど、住宅防火対策を積極的に推進している。

さらに、高齢者を含む地域住民の安全確保のために応急処置等の訓練を定期的実施するなど、多大な貢献をしている。

いりょうほうじんしゃだんじゅりょうかいくまもときのうびょういん
○医療法人社団寿量会熊本機能病院

(理事長 米満 弘一郎)

所在地 熊本県熊本市

昭和56年の開設以来、地域医療への貢献に努めており、予防から救急医療、自立支援まで一貫した医療の実践をしながら、地域に必要な病院となるべく、地域ニーズを見極める病院づくりに取り組んでいる。

特に、防火・防災活動に尽力しており、地域住民と合同で消防訓練を実施し、事業所見学も受け入れるなど地域に密着した活動を続け、職員一丸となって積極的に訓練を実施し、防火意識の高揚に努めている。これらの活動が、地域一体の防火協力体制の確立に貢献している。また、熊本地震を踏まえた事業継続計画（BCP）を学会等で発表するとともに、熊本市防災協会の会員事業所として地域との連携強化を図るなど多岐に渡る活動を行っている。

消防功労者総務大臣表彰を受賞した消防団員 及び女性（婦人）防火クラブ員

消防団員

○笹 ^{ささ} つね とし
常 俊

弘前市消防団 団長

現住所 青森県弘前市

昭和48年に入団以来、45年の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

消防団長就任以来、その優れたリーダーシップと決断力により部下団員の信望を集めるとともに、地域の防災力向上のため、地域住民からの求めに応じて、市内各地で実施される避難訓練や救命活動訓練等に積極的に団員を派遣している。派遣された団員自身の資質向上に繋がっており、地域の防災力向上及び消防の育成強化に努めている。

また、平成28年からは、青森県消防協会会長として尽力し、その功績は誠に顕著である。

○宮 ^{みや} かわ たかし
川 尚

佐井村消防団 団長

現住所 青森県下北郡

昭和51年に入団以来43年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の生命、身体、財産を守るため、自らを犠牲にし職務を遂行する姿は他の模範である。

平成11年に団長就任後は地域の幼年消防クラブ、少年消防クラブとの交流を積極的に図り、防火思想の啓蒙と消防団に対する理解を深めるため火災予防運動期間における防火パレード及び観閲式における軽可搬ポンプ操法実施に団員の指導を促し参観者からの高い評価を得ている。

また、平成28年には人口の減少に伴い消防団員数の減少が懸念されていることから、元消防団員に長年培った経験を災害時に活かし、被害の軽減を図るため協力団員制度を確立させた功績は誠に顕著である。

よし だ みき お
○吉 田 幹 男

久喜市消防団 団長

現住所 埼玉県久喜市

昭和50年に入団以来、42年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成15年の団長就任以降は、自らの豊富な経験と知識で消防団員の消防技術や教養の向上を図り、組織の改革に尽力し地域消防の発展に貢献した。

また、平成25年の組織改正により消防団が一団化され多くの課題が残る中、先頭に立ち様々な問題に対応し消防団の整備に重要な役割を果たした。

平成26年からは埼玉県消防協会の理事に就任し、地域のみならず多岐にわたり尽力された功績は誠に顕著である。

あか いし かず まさ
○赤 石 一 昌

小笠原村消防団 団長

現住所 東京都小笠原村

昭和59年に入団以来、34年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。本土より約千キロ離れた消防署のない超遠隔離島である当村において、多年にわたり団をとりまとめ、冷静に現場を指揮する監督手腕は非常に得難い存在である。

火災はもとより台風警戒、不発弾警戒や観光客の遭難救助など、他の地域とは異なった団活動に苦慮しながらも日々精進し、小笠原村の消防活動に尽力したその功績は誠に顕著である。

くり やま ひで お
○栗 山 秀 夫

川上村消防団 団長

現住所 奈良県吉野郡

昭和47年に入団以来、46年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安心確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

団長に就任した後も、地域住民から信頼される消防団を堅持するため、常に消防人としての資質向上と消防技能の習得に努め、消防精神の高揚と敏速的な消防技術の練磨、消防団員の士気高揚に努めている。平成23年の紀伊半島大水害においては、村内各地で土砂災害が発生したが、いち早く住民を避難させた。また危険な地域の住民に対し注意を促すなど、住民の生命と財産を守る使命を十分に認識し正確に職務を遂行した。

また、平成25年8月からは奈良県消防協会理事として尽力し、その功績は誠に顕著である。

なか むら のぶ ひろ
○中 村 信 廣

高取町消防団 団長

現住所 奈良県高市郡

昭和51年に入団以来、41年余りの永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成19年に団長に就任した後も、自らが先頭に立って特別警戒にあたるなど火災予防を常に心がけ活動し、災害から町民の生命と財産を守るため、災害思想の普及と消防活動に尽力し、地方消防の振興発展に貢献した。

平成29年の台風21号により災害が発生したが、死者やけが人が出なかったのは、団長として抜群の統率力と長年の経験を生かした判断力により団を指揮した結果によるものである。

また、平成21年からは、奈良県消防協会理事、評議員を歴任し、その功績は誠に顕著である。

おお つぼ やす ひこ
○大 坪 安 彦

上峰町消防団 団長

現住所 佐賀県三養基郡

昭和49年に入団以来、38年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成29年8月11日午後4時頃、本町前牟田の住宅地区で出火、民家1戸を全焼した。出火原因は、火たき場からの引火であった。現場周囲は民家が密集しており、延焼拡大が懸念されたが、管轄消防署の指示を的確に団員等に伝え、消火活動を開始したため懸念された延焼を食い止めることができた。そのほかにも、暗い中での残火処理が困難であることを予想し、投光機の搬入を行なう等、氏の冷静な判断力と行動力は見逃すことができない。

また、平成26年からは、佐賀県消防協会副会長として尽力し、その功績は誠に顕著である。

女性（婦人）防火クラブ員

○^{まえ}前 ^{かわ}川 ^{のり}典 ^こ子

北海道女性防火クラブ連絡協議会 会長
現住所 北海道河東郡

平成10年4月1日に音更婦人防火クラブに入会后、率先して地域の防火活動に参加し、平成20年4月には会長に就任、町内の店舗などで住宅用防災機器設置促進活動を活発に行い、平成25年には北海道婦人（女性）防火クラブ連絡協議会十勝支部支部長に就任、併せて北海道婦人（女性）防火クラブ連絡協議会委員に選任された。その後も積極的な啓発活動が評価され、平成28年には北海道女性防火クラブ連絡協議会会長に就任する。

就任後も、北海道の女性防火クラブの指導者として活躍し、家庭における火災予防の普及徹底並びに防火思想の向上を図り、地域の安心・安全の啓発に多大な貢献をしている。

○^{くつ}朽 ^き木 ^{あかね}茜

千葉県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長
現住所 千葉県成田市

平成元年に成田市婦人防火指導員協議会に入会し、平成2年に副会長、平成22年に会長を歴任し地域の防火・防災思想の普及及び会の育成に貢献した。

特に主宰した防災研究会、視察研修や防火イベント、消防出初め式への参加では、家庭における防火・防災対策の実践と消防行政の協力に寄与した。

平成22年に千葉県婦人防火クラブ連絡協議会副会長就任後は、各種研修会に積極的に参加し、日本防火・防災協会長表彰受賞後も防災に対する意識を高めようと地域の防火防災思想の普及、啓発に積極的に取り組み、消防、防災の指導者及び、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

○^{うえ}上 ^{まつ}松 ^{ゆき}幸 ^え恵

岐阜県女性防火クラブ運営協議会 副会長

現住所 岐阜県岐阜市

昭和60年に岐阜市市橋女性防火クラブ発足時から同クラブ会長に、又、平成20年には岐阜市女性防火クラブ運営協議会会長に就任し、様々な住宅防火に関する事業を展開している。

平成20年に岐阜県婦人防火クラブ運営協議会理事に、平成22年には同協議会副会長に就任した。

同運営クラブ協議会の副会長になってからは地元のみならず、各種研修会に積極的に参加し、県内各地の防火・防災意識の向上と合わせ住宅防火対策の向上に努め、定期的に住宅用火災警報器や防災物品等住宅用防災機器などの研修会を開くなど地域防災力の向上に多大な貢献をしている。

○^す須 ^さ佐 ^{みさこ}光佐子

和歌山県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長

現住所 和歌山県和歌山市

昭和54年和歌山市西ニュータウン婦人防火クラブ発隊時から、率先して地域での防火活動に積極的に参加し、昭和56年に隊長に就任。平成18年に和歌山市婦人防火クラブ連合会会長に就任、同年和歌山県婦人防火クラブ連絡協議会の副会長となり、県内の防火思想の普及啓発を図るため、防火防災訓練等を積極的に実施し、防火防災意識の向上に努めている。

平成28年には日本防火・防災協会と共催し、連合会結成40周年記念大会を開催するなど防火活動を強力に牽引した結果、平成29年の和歌山市内の火災件数は24年ぶりに70件台に減少し、県内出火件数減少に貢献した功績は誠に顕著であり、他の模範である。

やま もと ふみ こ
○山 本 文 子

岡山県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長

現住所 岡山県美作市

昭和56年、江見地区婦人防火クラブ発足時から、地域での防火活動に積極的に参加し、平成15年には同クラブ会長に、町村合併により平成17年に美作市婦人防火クラブ会長に、平成24年から岡山県婦人防火クラブ連絡協議会の副会長に就任し、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

平成21年の台風9号により発生した甚大な水害の後も、献身的に地域のために罹災者に寄り添いカウンセリングを行うなど心のケアを実施した。

平成24年の岡山県婦人防火クラブ連絡協議会副会長就任後は、各種防火広報と婦人防火クラブ主催の防火・防災研修会を含めた啓発活動から地域防災力向上の牽引者として功績は誠に顕著であり、他の模範である。

総務大臣表彰の種類		受賞者数	計
安全功労者表彰	個人	22	32
	団体	10	
消防功労者表彰	消防団員	7	12
	女性(婦人) 防火クラブ員	5	